

漁業後継者育成研修事業

小笠原大郎・大坂拓巳

目 的

漁業者の減少と高齢化が進行し漁業後継者も不足していることから、本県水産業の維持・発展を図るため、短期研修(通称「賓陽塾」)を実施し、優れた漁業者を確保・育成する。

研修結果

1. 漁業基礎研修

漁業に就業して間もない人、漁業への就業を希望している人を対象に、基本的な漁業技術・知識習得のため実施した。

(1) 研修期間

令和2年6月1日～同年7月31日

(2) 受講生

受講生数は6名であり、出身地内訳は平内町5名、青森市1名であった。

(3) 研修内容

- ・水産知識 漁業関係法令・制度、栽培漁業・資源管理、ホタテ貝養殖、漁獲物の鮮度保持など(表1)
- ・漁業技術 各種ロープワーク、沿岸漁業実習(表2)

2. 資格取得講習

「賓陽塾」受講生のうち希望者を対象に、漁業へ就業する上で必要な一級及び二級小型船舶操縦士の資格取得のため実施した(表3)。

3. 出前講座

漁業者の団体等を対象に、漁業技術等のレベルアップのために行う講座であるが、希望がないため実施しなかった。

表 1. 水産知識

月 日	内 容	講師 所属・氏名
6月1日	水産総合研究所の概要	水産総合研究所 吉田企画経営監
6月8日	ホタテガイ天然採苗技術について	〃 吉田ほたて貝部長
6月15日	簿記・漁業経営	青森県農林水産政策課農業普及改良グループ 對馬主幹
6月22日	漁業制度の概要	青森県農林水産部水産局水産振興課 清藤総括主幹
〃	栽培漁業・資源管理について	〃 〃 竹谷主査
6月29日	漁獲物の鮮度保持	下北地域県民局地域農林水産部むつ水産事務所 油野普及課長
7月6日	海上航行のルール	水産総合研究所 小笠原二等航海士

表 2. 漁業技術

月 日	内 容	
	ロープワーク	沿岸漁業実習
6月1日～6月30日	端止め、基本的な結び方、石・玉からめ、三よりロープの接合、クロスロープの接合	かご・さし網・釣り漁業
7月2日～7月28日	クロスロープの接合、サザンクロスロープの接合、漁網補修技術、ワイヤーロープの接合、結索標本作製	かご・さし網漁業

表 3. 資格取得講習

資格	開講期間	開催場所	受講者数	合格者数
一級・二級小型船舶操縦士	8月17日～8月21日	水産総合研究所	一級 3名 二級 2名	一級 3名 二級 2名

研修実施状況



水産知識(水産総合研究所の概要)



ロープワーク(クロスロープの接合)



刺網漁業実習



結索標本制作